

平成 29 年播種（平成 30 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔4 月 10 日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要(中甸区・下旬区共通)

供試品種	早 生	中 生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小 麦		シラネコムギ
		ゆきちから

(中甸区)

- ・播種期：10 月 18 日
- ・播種量：0.9 kg/a(ドリル播き, 条間 25 cm)
- ・施肥：尿素磷加安 777 号  
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)

(下旬区)

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠  
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目(前作水稻)
- ・播種期：10 月 27 日
- ・播種量：1.0 kg/a(ドリル播き, 条間 25 cm)
- ・施肥：(中甸区と同じ)

2. 気象概況〔3 月～4 月上旬〕(表 1, 図 1)

- ・平均気温は、平年より高く経過した。
- ・降水量は、3 月上旬にまとまった降雨があり多雨となったが、3 月中旬から 4 月上旬は少雨で、期間平均では平年よりやや多かった。
- ・日照時間は、3 月は平年並～多、4 月上旬は少照であった。
- ・3 月初頭まで続いていた積雪は、3 月上旬の降雨とその後の高温と日照により消失した。

表 1 気象経過(3 月～4 月上旬) 古川 AMeDAS

	平均気温		積算降水量		積算日照時間	
	本年 (°C)	平年差 (°C)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (hr)	平年比 (%)
3 月上旬	3.7	1.7	92.5	487	47.2	91
3 月中旬	5.1	1.5	0.0	0	74.6	129
3 月下旬	7.4	2.6	22.0	86	82.7	138
4 月上旬	8.2	0.7	13.5	59	41.1	63

3. 生育概況

1) 4 月 10 日現在の生育状況 (表 2)

<中甸区>

- ・草丈、茎数は、大麦・小麦ともに、平年の 7～9 割程度となった。
- ・葉数は、大麦・小麦ともに、概ね平年並となった。

<下旬区>

- ・大麦、小麦ともに、中甸区に比較して生育量は小さく、草丈・茎数・葉数ともに中甸区比 8～9 割程度の生育量であった。
- ・融雪後から、中甸区、下旬区ともに、高温傾向と日照に恵まれ、追肥後には適度な降水もあって肥効が得られ、生育は旺盛となった。

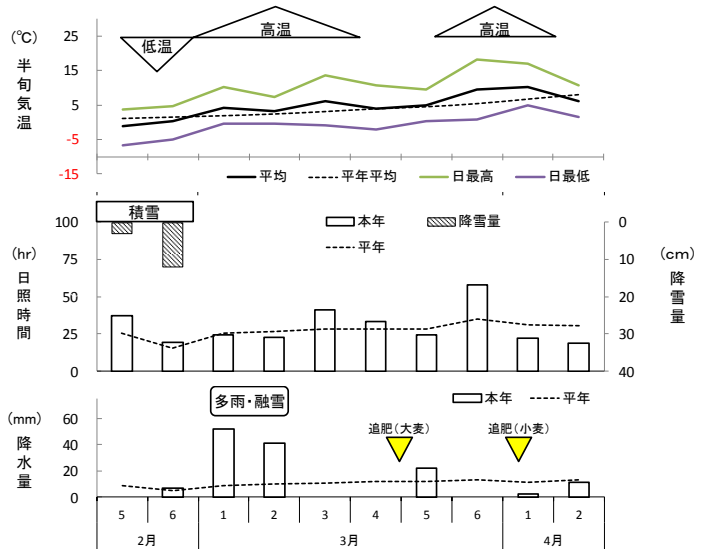


図 1 気象経過 古川 AMeDAS

(図中の追肥は、幼穂形成期追肥)

2) 幼穂分化状況 (表 3)

- ・中甸区では、大麦の幼穂長は「シュンライ」が 7.9mm, 「ミノリムギ」は 4.3mm, 小麦の幼穂長は 2.2～2.6mm で、いずれも平年より短く、幼穂形成始期に達した時期も平年より遅かった。
- ・下旬区の幼穂長は、大麦で約 3mm, 小麦は約 2mm であった。
- ・大麦は 3 月上～中旬に、小麦は 3 月下旬に幼穂形成始期に達した。中甸区では、いずれも平年より遅かった。

表2 生育状況(4月10日調査, 4月9日実施)

品種	区分 (月/旬)	草丈			茎数			葉数		
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
シュンライ	10月中旬	18.0	63	75	649	91	71	9.0	-1.1	-0.2
	10月下旬	14.9	-	-	623	-	-	7.7	-	-
ミノリムギ	10月中旬	21.1	84	94	888	97	90	8.8	-1.0	-0.5
	10月下旬	16.8	-	-	688	-	-	7.1	-	-
シラネコムギ	10月中旬	19.3	59	69	730	79	84	8.5	0.5	0.6
	10月下旬	15.9	-	-	717	-	-	7.5	-	-
ゆきちから	10月中旬	18.5	88	88	725	81	81	8.7	0.2	0.2
	10月下旬	14.7	-	-	574	-	-	7.2	-	-

注1) 10月中旬播種の平年比(差)は平成25年播種を除く過去7か年中の中庸5か年の平均値との比較。

注2) 10月下旬播種は本年播種から供試のため前年値及び平年値はない。

注3) 草丈・茎数・葉数の調査は, 4月9日に実施。

表3 幼穂分化状況(4月10日調査, 4月6~7日実施)

品種	区分 (月/旬)	幼穂長			幼穂 分化 程度	幼穂形成始期			主穂長 (mm)	莖立期		
		本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年 (月/日)	前年 (月/日)	平年 (月/日)		本年 (月/日)	前年 (月/日)	平年 (月/日)
シュンライ	10月中旬	7.9	-5.7	-1.5	X	3/4	1/26	2/1	25.6	4/3	4/2	4/2
	10月下旬	2.9	-	-	IX~X	3/15	-	-	6.7	-	-	-
ミノリムギ	10月中旬	4.3	-4.4	-2.1	IX~X	3/14	2/1	2/15	12.1	-	4/3	4/5
	10月下旬	3.0	-	-	IX~X	3/16	-	-	8.4	-	-	-
シラネコムギ	10月中旬	2.2	-5.5	-4.3	IX	3/27	3/6	3/14	5.4	-	4/4	4/10
	10月下旬	1.6	-	-	IX	3/31	-	-	3.0	-	-	-
ゆきちから	10月中旬	2.6	-1.2	-1.2	IX	3/27	3/17	3/18	4.9	-	4/8	4/14
	10月下旬	2.0	-	-	IX	3/30	-	-	3.2	-	-	-

注1) 10月中旬播種の平年比(差)は平成25年播種を除く過去7か年中の中庸5か年の平均値との比較。

注2) 10月下旬播種は本年播種から供試のため前年値及び平年値はない。

注3) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注4) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

注5) 莖立期: 主穂長が20mmに達した日。

注6) 幼穂長及び主穂長の調査は, 「ゆきちから」が4月7日, 他品種は4月6日に実施。

(参考) 麦類の幼穂分化程度と幼穂長 (mm)

品種	苞分化期		小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X		
大麦	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0		
小麦	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0		

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが, V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に, IX期は「前・中・後期」に区分される。

平成 29 年播種(平成 30 年産)麦類生育調査ほ生育状況[4 月 10 日調査結果]

表 4 平成 29 年播種(平成 30 年産)麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換	排水対策	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	条間 (cm)
			年数	(明渠、暗渠等)			
大河原	シュンライ	大河原町	19	暗渠	10月27日	1.0	30.0
	ミノリムギ	大河原町	3	暗渠	10月27日	1.0	30.0
仙台	シュンライ	大和町	1	明渠	11月13日	0.8	28.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川桜ノ目	4	弾丸暗渠	10月29日	1.0	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10	暗渠、明渠	11月12日	1.4	23.4
	ゆきちから	涌谷町	1	暗渠、明渠	11月13日	1.4	22.3
登米	あおばの恋	涌谷町琵琶首	18	弾丸暗渠	10月27日	1.0	24.6
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠(予定)	10月28日	1.0	30.0
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠(予定)	11月2日	1.0	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠(予定)	11月13日	1.0	23.0

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表 5 麦類生育調査ほ 生育状況(4 月 10 日現在)

担当普及 センター	品種名	草丈			莖数			幼穂長 (mm)
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	18.6	73	84	652	79	105	7.9
	ミノリムギ	28.8	99	143	777	115	146	9.1
仙台	シュンライ	20.9	112	84	432	176	88	7.0
大崎	シラネコムギ	15.8	69	85	825	58	75	1.8
美里	シラネコムギ	14.6	57	82	211	16	20	0.2
	ゆきちから	16.0	58	94	380	26	46	0.2
登米	あおばの恋	18.6	52	—	846	67	—	2.6
石巻	シュンライ	18.6	78	88	433	116	73	5.5
	ミノリムギ	15.2	54	74	172	25	27	2.6
	シラネコムギ	16.5	69	76	393	35	32	1.3

- 注1) 大崎、美里の調査地点の平年値は、過去7か年中、中庸5か年の平均値。  
 注2) 大河原と石巻の調査地点の平年値は、過去6か年中、中庸4か年の平均値。  
 注3) 大和町「シュンライ」の平年値は、過去4か年の平均値。  
 注4) 登米市「あおばの恋」は、H28からは場変更のため、平年値がない。

<生育状況等に関する担当農業普及センターのコメント>

**大河原**

- ・「ミノリムギ」の方が生育は進んでいるが、「シュンライ」についても、茎数が増加しており、生育差は少なくなってきた。
- ・幼穂長は「シュンライ」で7.9mm、「ミノリムギ」で9.1mmと、幼穂形成期は過ぎている。
- ・雑草害は現時点では見られない。

**仙台**

- ・播種期の遅れとその後の低温で生育は遅れている。
- ・茎数は株直し追肥でやや回復しているが、幼穂長は前年の39mmに対して今年は7mm程度。

**大崎**

- ・草丈は平年比85%、茎数は平年比75%と平年より生育量が少ない。
- ・幼穂長も平年差-1.7mmと平年より生育が遅れている。
- ・雑草の発生は見られていない。

**美里 シラネコムギ：**

- ・一部凍霜害による茎数減有り。
- ・分けつ盛期。

**美里 ゆきちから：**

- ・一部凍霜害と湿害による茎数減有り。
- ・分けつ盛期。

**登米**

- ・冬期間の積雪があったことで、野鳥による食害はほとんど見られなかった。
- ・茎数は約850本/m<sup>2</sup>であり、十分な生育量を確保している。
- ・幼穂長は2.6mmであり幼穂形成期後期に達しようとしている。
- ・出穂期予測モデルを用いた出穂期は5月8日となった。
- ・ハコベなど広葉雑草が若干みられるが、特に問題はない。

**石巻**

- ・3月は気温が高く日照時間も多かったため、生育が旺盛だったが、生育の小ささや遅れを取り戻すまでではなかった。
- ・また、本年は管内全体的に鳥害がほとんど見られなかった。